

陝西電力株式會社二十五年略史

特247

715

m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

始



特247  
715



陝西電力株式會社二十五年略史



林大會堂二十世紀史



(寫真、就職順)



前社長 川文 藏

(富真、猿舞剛)



博 藤 齋 役締取務當前



助之宗 丸金 役締取前



郎次 銀川市 役締取務常前



平孝澤丹 役締取前



郎十 清藤齊 役締取前



育和 漱廣 役締取前



幸忠 田原 役締取



郎太淑崎矢役締取



七豊中野役査監



助仙藤齊役締取務常



平治川市役査監



門衛右義津新入配支



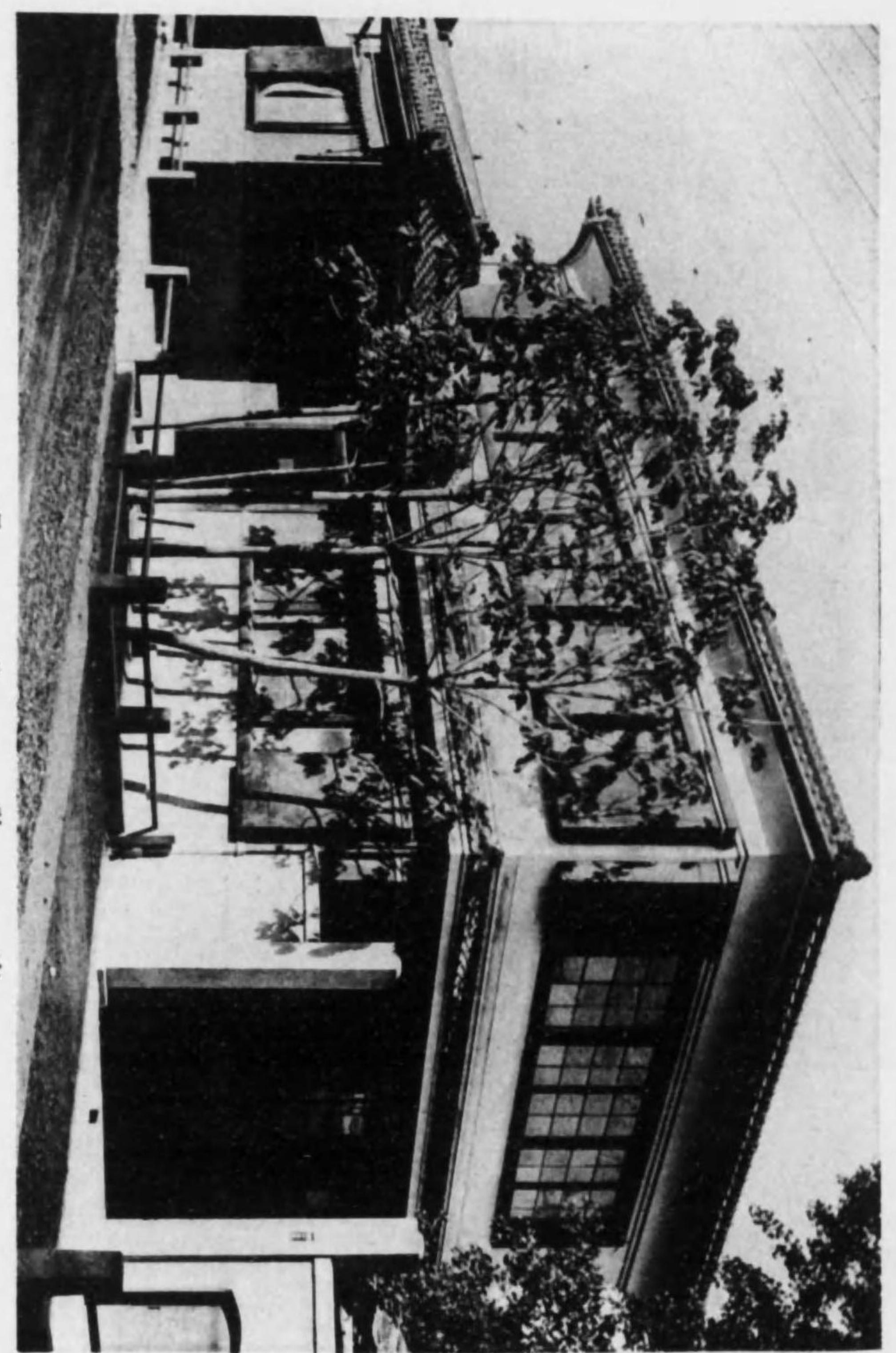
門衛右次源本植役査監



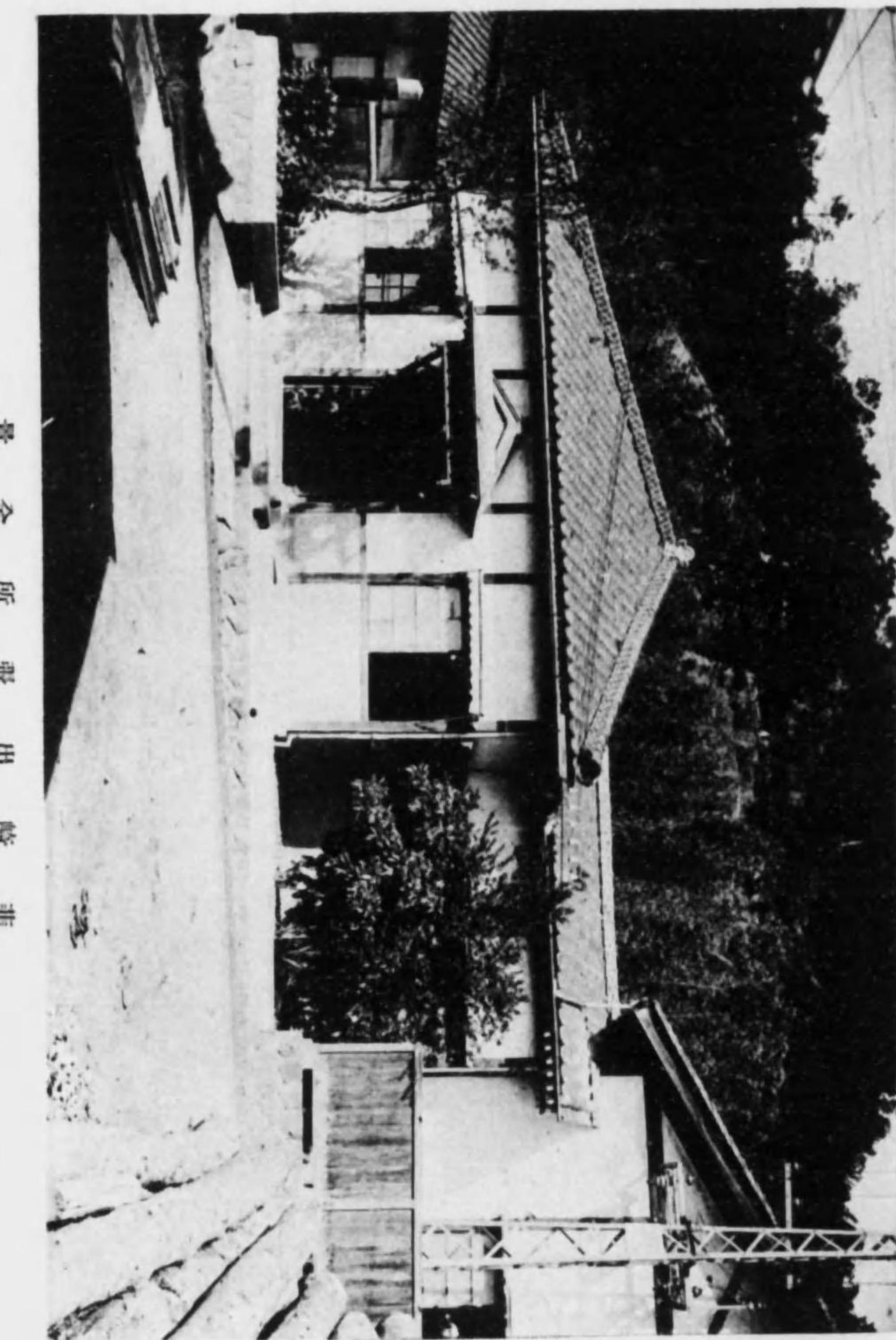
前技師長早川浅治



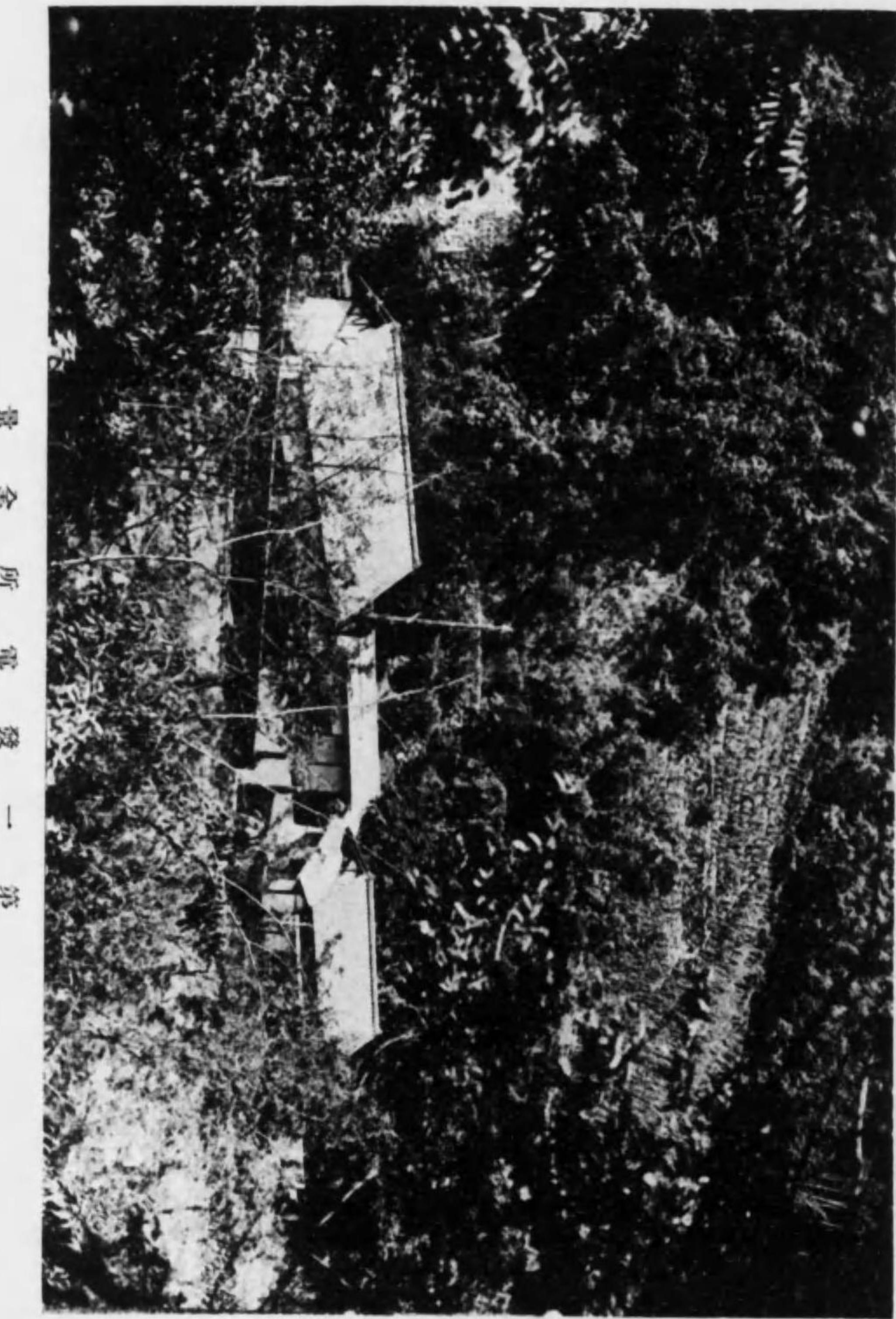
技師長依田良一



景全社本

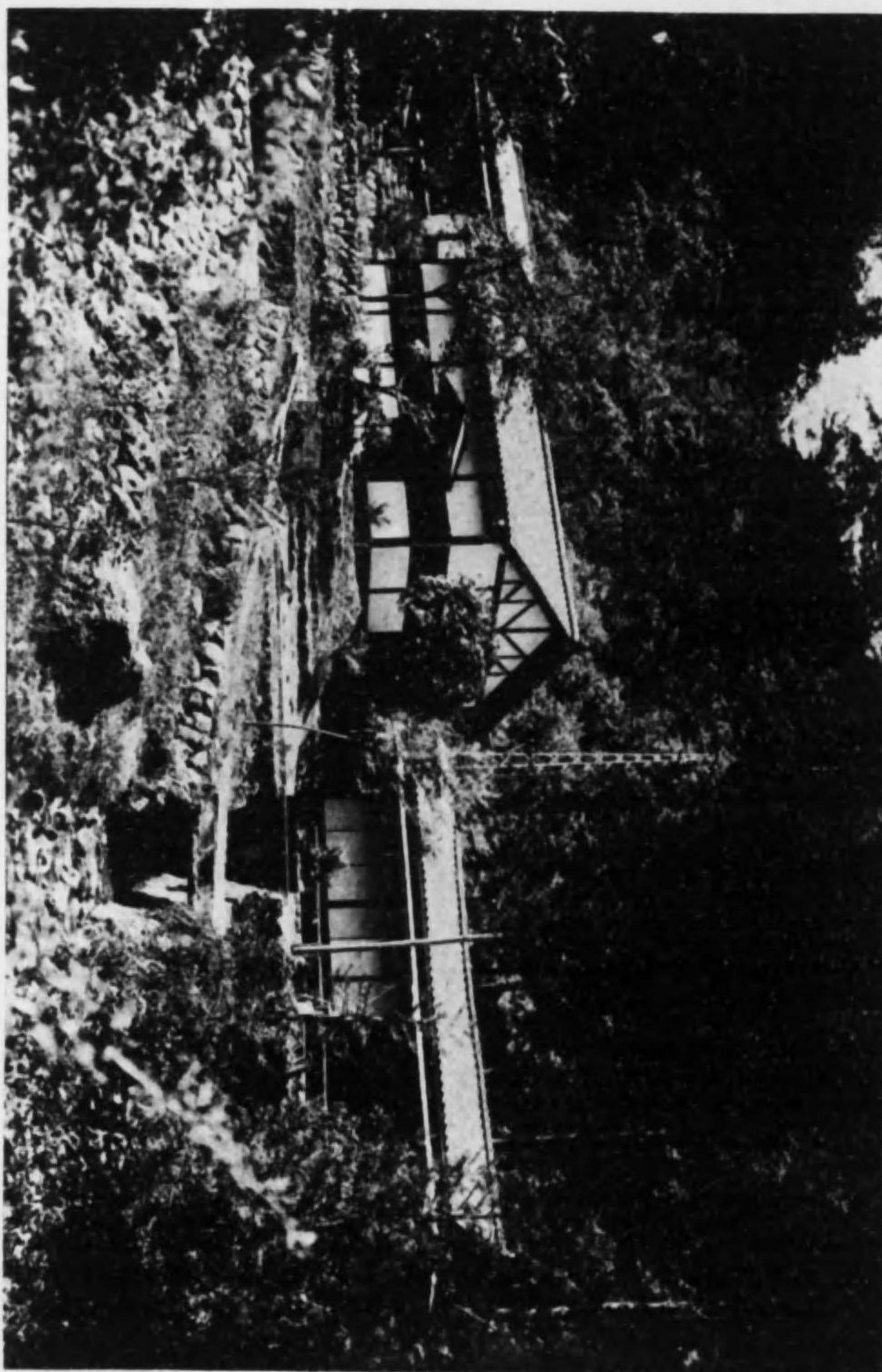


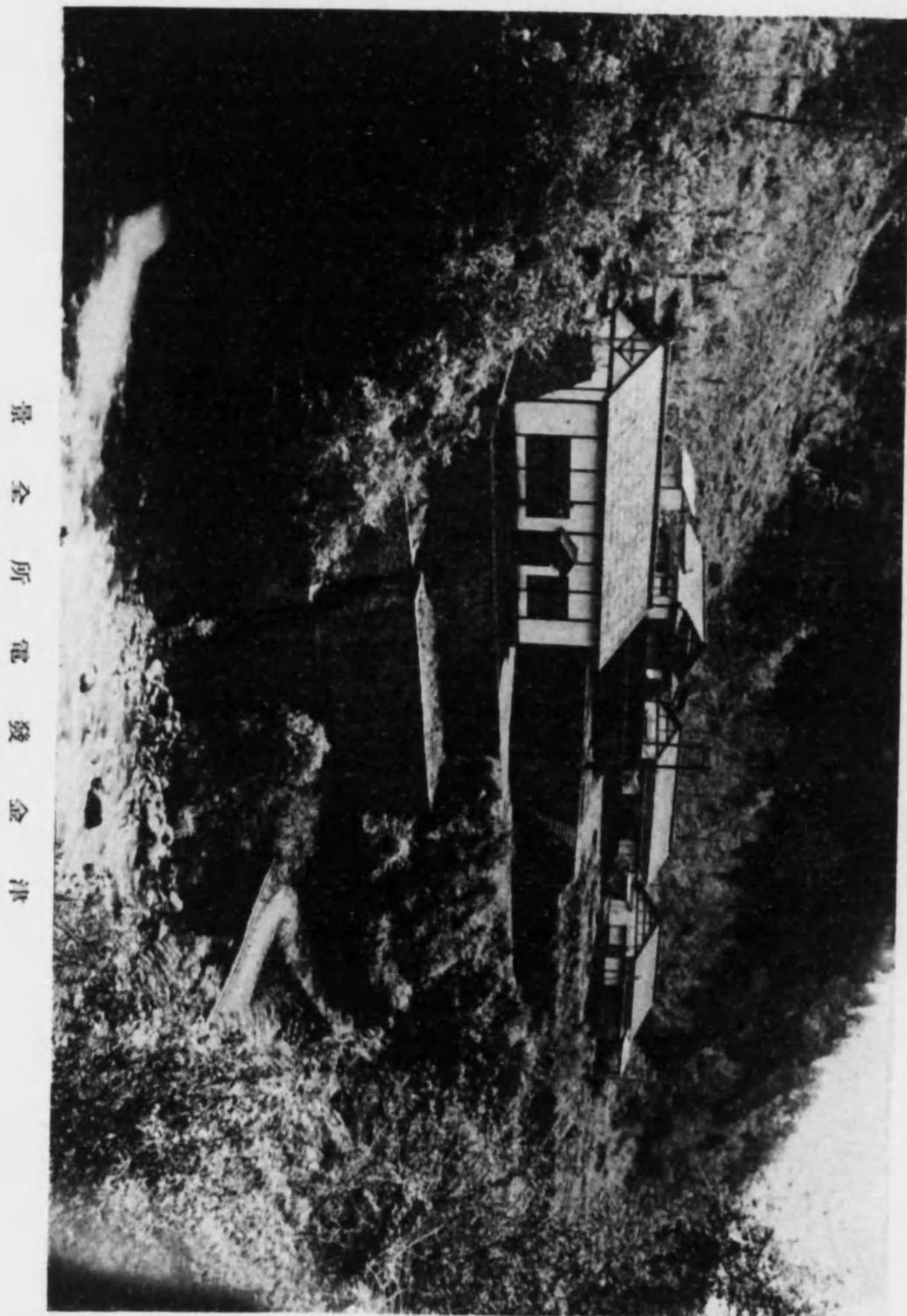
蘇州出張所全所景



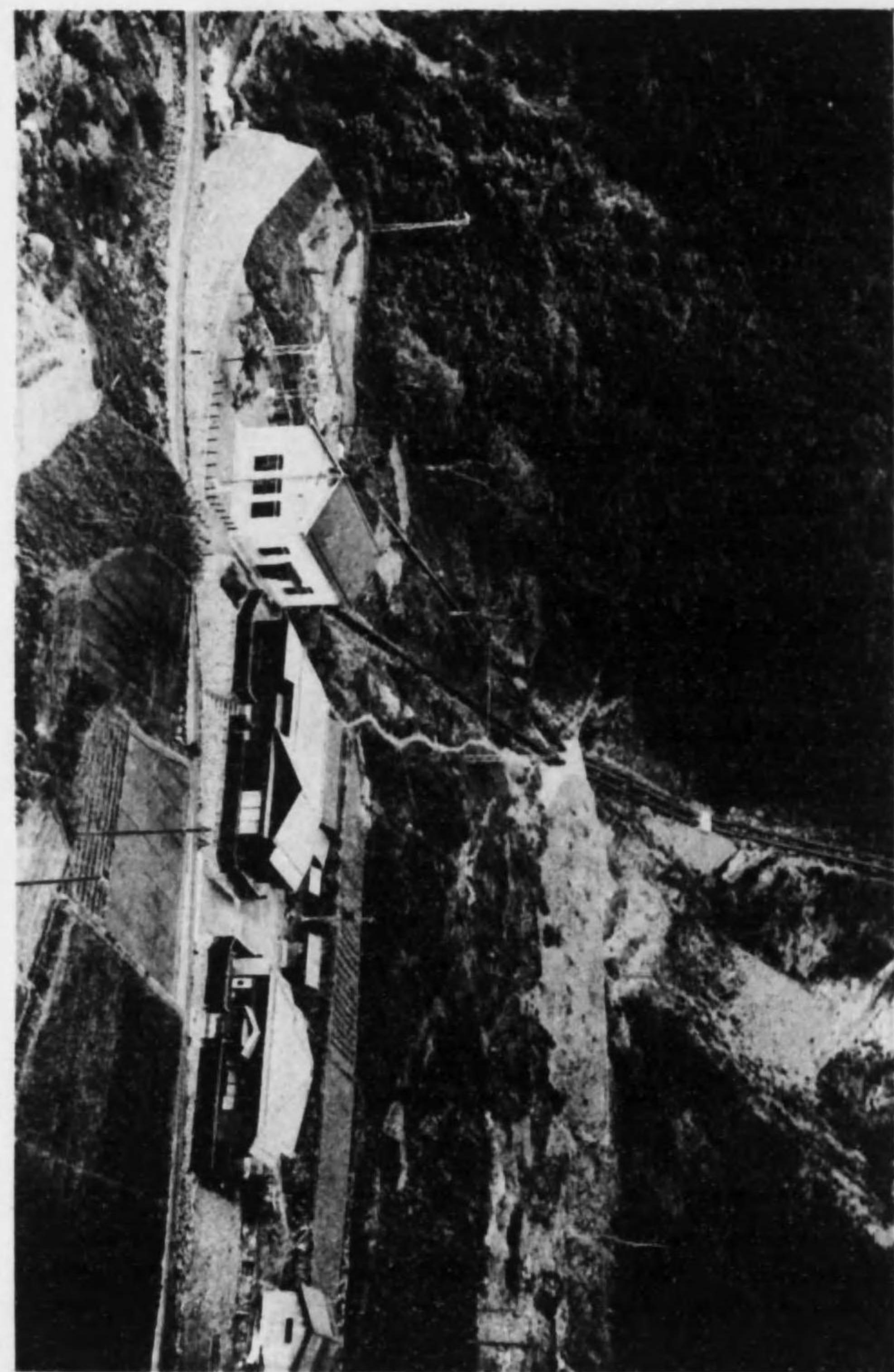
景全所電發一第

電發二所全貌

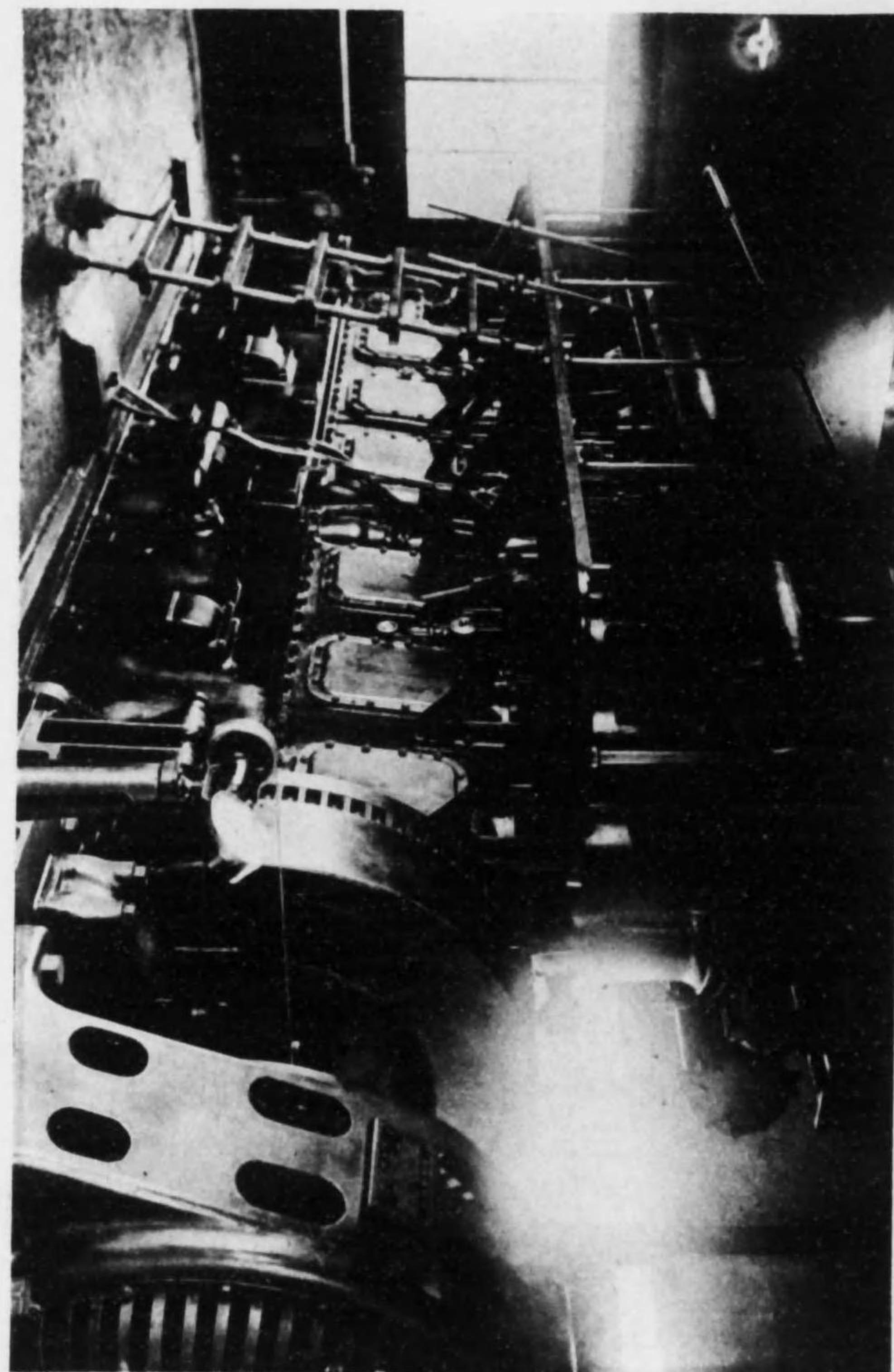




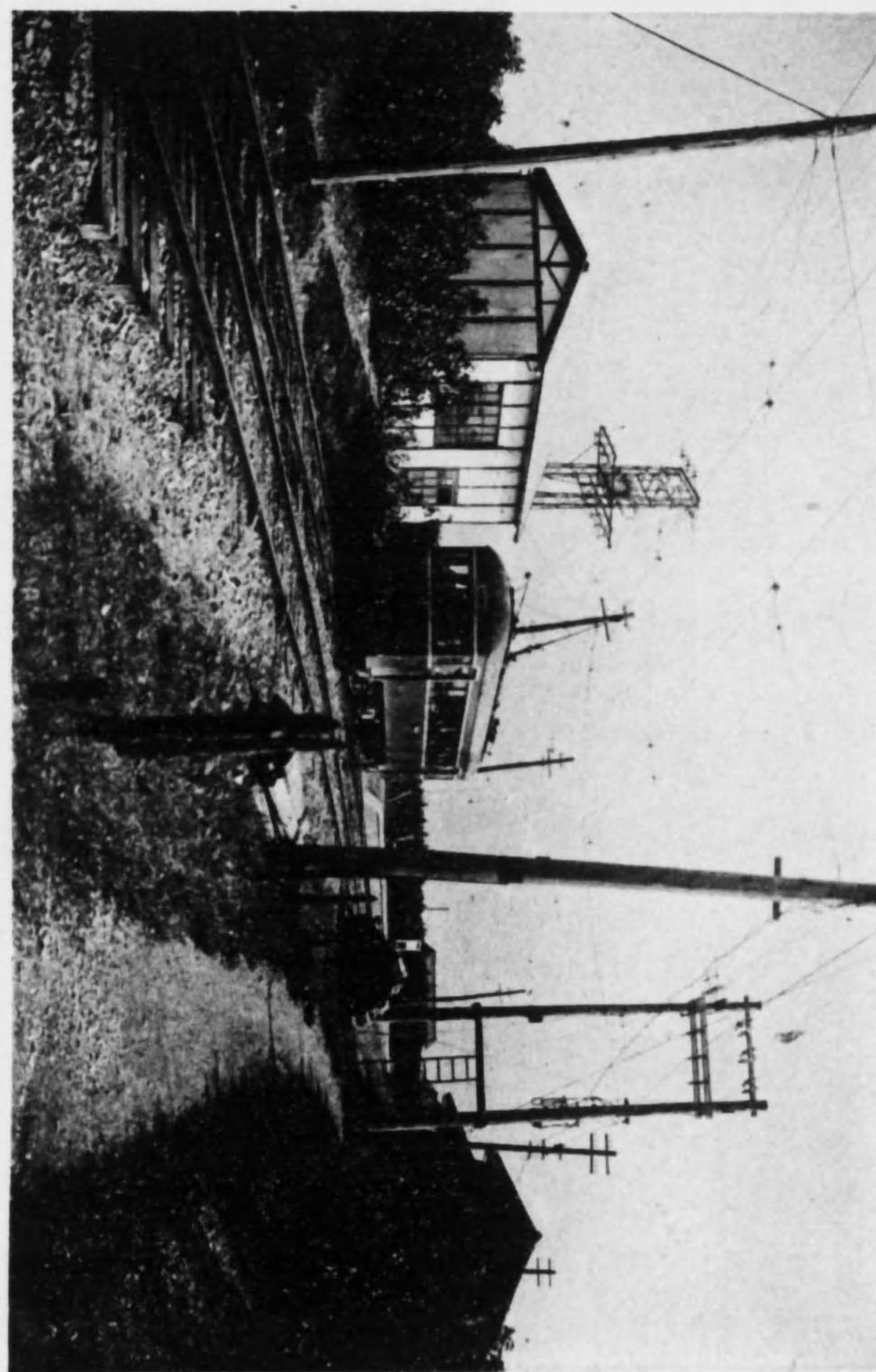
景全所電發金津



吉安發電所全貌



部 内 / 所 電 發 力 火 岐 設



飯野開閉所附近

## 序

回顧すれば明治四十三年七月七日始めて、本社創立せられ、同年十二月二十八日付第一發電所の翌四十四年五月三十一日付第二發電所の電氣工事施行認可を得同年十月九日第二發電所の工事に着手し十二月二十四日假使用認可を得直に使用を開始致しました。

當時の需用家數は四百二十一戸取付燈數は、五燭、十燭、十六燭、合せて、僅かに、千六十九燈にして、本期末に於ける一萬六千餘の需用家數と五萬餘燈の取付燈數に比較する時は、實に感慨無量であります。

以上は取付電燈數に引例せるものであります。が本社が創立の當初より今日の狀態に至りし其の間の經路は決して簡単のものではありませんでした。所謂羅馬は一日にして成らずとか過去二十五年間本社の辿り來りし経過を回想すれば又相當の艱難に遭遇し來たのであります。殊に供給區域の大部分が養蠶地なる故横濱系況の不振は直ちに營業成績に影響し昭和四年下期より昭和六年下期迄の六期間に於ける經營當路者の苦心の如きは、其の事情を知るものをして、危

惧の餘、窃に、心膽を寒からしめしこともありました。

幸ひにして、社員諸氏の忠實なる努力と、株主各位の後援により、總ての難關を開きし基礎此處に固く功績此處に顯はれて、遂に現況に達せしは、誠に欣喜慶祝の至りと言はねばなりません。

然しながら社業の前途は尙遼遠にして、其の間必ずしも、坦々たる平直一路には非らざるべく幾多の難局に、遭遇する事を覺悟せなければなりません。希くば今後共株主各位の甚大なる後援と社員諸氏の誠心勵精により以て、我社の基礎をより一層振張興隆せしむる様努力せられんことを。

かくして、我社はじめて其の使命を完ふし、其の存在の意義を現はすを得て峠西及峠北の文化を啓發し福利を増進し文明の世運に寄與すべく其の共存共榮の實を擧げ得るものであります。

本日此處に、二十五週年を迎ふるに當り欣快に勝へず既往を回顧して、希望を將來に寄せ聊か鄙見を敍して、序と致します。

昭和十年六月二十五日

峠西電力株式會社

## 目 次

### 第一編 會社の組織

第一章 會社の成立	一
第二章 定款	二
第三章 業務開始	三
第四章 重役	四
第五章 會社の職制	五
第六章 社員	六

### 第二編 事業の大要

第一章 発電所の建設	七
第二章 發電所設備及變電所設備	八
第三章 供給区域	九

## 第一編 會社の組織

### 第一章 會社の成立

明治三十八年東京淺草專賣局飯野出張所管下煙草委託製造擔當人、齊藤清十郎外六名が煙草製造工場用動力として、約五十馬力の供給を甲府電力株式會社へ申込みたる所、種々の事情によりて、其の供給を拒絶せらる。

前記諸氏が當地方に、電氣事業者の出現を切望しつゝありたる際、土地の有志、市川文藏、齊藤博、金丸宗之助氏等相謀り時勢の要求に應じ、電氣事業を興し前記工場をはじめ一般、需用者の利便に供せんと計畫し、出願中の處、明治四十三年二月八日、時の遞信大臣より認可せられ、超えて、同年七月七日資本金拾萬圓（貳千株式）を以て、峠西電力株式會社を創立し、本社を山梨縣中巨摩郡明穂村二百六十五番戸に置く。

是我社の濫觴なり。

第四章 電燈電力普及の狀況	二
第五章 大口電力供給狀況	三
第六章 化學工業部	四
第三編 會社の會計	
第一章 資本金增加の經過	一
第二章 建設資金借入概況	二
第三章 累年營業成績表	三

## 第二章 定款

### 峠西電力株式會社定款

#### 第一章 總則

- 第一條 本會社ハ電燈電力ノ供給事業ヲ經營シ並化學工業ヲ兼營スルヲ以テ目的トス  
第二條 本會社ハ峠西電力株式會社ト稱ス  
第三條 本會社ノ資本總額ヲ金百參拾萬圓トス  
第四條 本會社ハ本店ヲ山梨縣中巨摩郡明穗村小笠原貳百四拾參番地ニ設置ス  
第五條 本會社ノ存立期間ハ明治四十三年二月八日ヨリ滿貳拾五年トス但シ株主總會ノ決議ニ依リ伸縮スルヲ得  
第六條 本會社ノ公告ハ所轄區裁判所ノ公告スル新聞紙ヲ以テ之ヲ掲載ス

#### 第二章 株式

- 第七條 本會社ノ株式ハ記名式ニシテ壹株ノ金額ヲ五拾圓トシ總株數ヲ貳萬六千株トス但シ株券ノ種類ハ壹株券拾株券ノ貳種トス  
資本金增加ノ場合ニ於ケル株式ハ額面以上ノ價額ヲ以テ發行スルヲ得  
第八條 株金第一回ノ拂込ハ壹株ニ付金拾貳圓五拾錢トシ第二回以後ノ拂込金額及期日ハ取締役會ニ於テ之ヲ定ム  
第九條 株金ノ拂込ヲ怠リタル株主ハ遲延日數ニ應ジ百圓ニ對シ一日金四錢ノ割合ヲ以テ延滯利息ヲ支拂ヒ且ツ之レガ爲ニ生ジタル一切ノ損害ヲ賠償スペキモノトス  
第十條 賣買讓渡ニヨリ株券ヲ取得シタルトキハ當事者双方連署ノ名義書換請求書ヲ本會社ニ差出シ株主名簿ニ登錄ヲ受ケ且ツ其ノ株券ニ捺印ヲ受クベシ  
相續遺言強制執行其ノ他ノ事由ニヨリ株券ヲ取得シタルモノハ其ノ取得ノ原因ヲ證明スペキ書面ヲ添付スペシ  
第十一條 株券ヲ紛失又ハ滅失シタルトキハ其事由ヲ詳記シ證人二人以上ノ連署ヲ以テ新株券ノ交附ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ本會社ハ其旨ヲ公告シ三十日ヲ經テ猶發見セザルトキハ新株券ヲ交附ス

第十二條 前二條ノ場合ニ於テハ會社ハ規定ノ手數料ヲ徵シ且ツ其ノ費用ヲ支拂ハシムルモノトス

第十三條 每年五月貳拾五日及拾壹月貳拾五日ヨリ各定期株主總會ノ終了マデ株式ノ名義書換ヲ停止ス

### 第三章 役員

第十四條 本會社ニ左ノ役員ヲ置ク

一監査役 三名

取締役ノ互選ヲ以テ社長及常務取締役各壹名ヲ擧グ

第十五條 取締役ハ本會社ノ株式五拾株以上監査役ハ參拾株以上ヲ所有スル者ニ限り株主總會ニ於テ之ヲ選舉ス

第十六條 社長及取締役ノ任期ハ三ヶ年トシ監査役ノ任期ハ二ヶ年トス但再選重任スルコトヲ得

第十七條 社長及取締役ガ任期中監査役ニ供託スペキ株數ハ五拾株トス

監査役ハ前項株券ニ付取締役退任シタル場合ト雖ドモ其ノ年度ノ計算ニ對シ株主總會ノ承認ヲ經タル後ニ非ラザレバ之レヲ還附スペカラズ

第十八條 取締役又ハ監査役ニ缺員ヲ生ジタル時ハ臨時總會ヲ開キ補欠選舉ヲ爲スベシ但シ法定人員ニ不足ヲ生ゼザル場合ハ次ノ定期總會迄補欠選舉ヲ爲サザルコトヲ得補欠選舉ニ於テ當選シタル者ノ任期ハ次回ノ改選期迄トス

第十九條 社長ハ本會社ノ業務ヲ總理シ取締役會ノ議長ト爲リ且ツ本會社ヲ代表ス

第二十條 常務取締役ハ常ニ社長ニ代ハリ會社業務ノ一切ヲ處理ス

第二十一條 取締役ハ事業ノ方針ヲ決定シ社長及常務取締役ヲ補佐シ社務ヲ處理ス

第二十二條 取締役及ビ監査役ノ給料又ハ報酬ハ株主總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十三條 取締役會ニ於テ必要ト認ムル時ハ相談役又ハ顧問ヲ嘱託スルコトヲ得

#### 第四章 株主總會

第二十四條 本會社ノ定期株主總會ハ毎年六月及ビ十二月ノ二回ニ之ヲ開キ臨時株主總會ハ臨時必要ノ場合ニ之ヲ開ク

第二十五條 株主總會ヲ開ク場合ニ於テハ豫メ其目的及ビ事項開會日時等二週間前ニ之レヲ各株主ニ通知スベシ

第二十六條 株主總會ニ於ケル議長ハ社長之ニ任ジ社長事故アル場合ハ他ノ取締役中ヨリ互選ス但シ其ノ議事取締役ノ利害ニ關スル時又ハ商法第百六十條及第百八十二條ニ依リ召集シタル株主總會ノ議長ハ出席株主中ヨリ之ヲ選任ス

第二十七條 株主總會ノ議事ハ出席株主議決權ノ過半數ニ依リ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第二十八條 定款ノ變更又ハ解散ヲ議決セントスルトキハ總株主ノ半數以上ニシテ資本金ノ半額以上ニ當ル株主出席シ其ノ議決權ノ過半數ニ依ルコトヲ要ス

第二十九條 株主ノ議決權ハ壹株毎ニ壹個トス

第三十條 株主自カラ總會ニ出席スルコト能ハザル時ハ本會社ノ株主ニ限り委任狀ヲ交附シテ議決權ヲ行ハシムルコトヲ得

第三十一條 株主總會ノ議決ハ決議錄ニ登載シ議長及ビ取締役監査役其他出席シタル株主二名以上署名捺印シ以テ之ヲ保存スベシ

第三十二條 株主ハ印鑑ヲ作リ之ニ住所氏名ヲ記シ本會社ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタル時ハ亦同ジ

#### 第五章 計算

第三十三條 本會社ノ決算ハ事業年度ヲ二期ニ分チ十二月ヨリ五月迄ヲ上半期トシ六月ヨリ十一月迄ヲ下半期トス

第三十四條 本會社ノ收入金ヨリ諸公課一切ノ費用及ビ損害ヲ控除シ其殘額ヲ以テ純益金トシ之ヲ左ノ各項ニ分配スルモノトス

一法定積立金 百分ノ五以上

一役員賞與 百分ノ五以内

前項ノ外別途ノ積立ヲナシ又ハ次期へ繰越スコトヲ得

### 第三章 業務開始

第三十五條 每期利益金配當ハ其ノ決算末日現在株主ニ對シ之ヲ爲スモノトス  
明治四十三年六月一日現新津支配人、一人にて、市川銀行明穂支店の片隅に  
假事務所を置き、創立總會及び業務開始の準備に着手し、間もなく、三枝圓藏  
土木主任就任し、發電所建設の測量に從事せり。

超えて、七月七日無事會社成立せしにより翌八日直に事務所を明穂村二百六  
十五番戸に移し業務を開始す。

此の間營業認可後約五ヶ月にして、爾來、業務の發展膨脹に伴ひ、其の狹隘  
を來たせしにより、大正八年一月八日同村小笠原二百四十三番地に新築移轉せ  
り、現在の本社是なり。

### 第四章 重役

#### 重役の異動

市川文藏

明治四十三年七月七日會社創立以來社長として  
在職二十五年

昭和十年五月四日逝去

齋藤博

明治四十三年七月七日取締役に就任  
其の後重任

明治四十四年九月四日常務取締役に就任

大正十年九月八日逝去

金丸宗之助

明治四十三年七月七日取締役に就任  
其の後重任

昭和六年十二月二十日逝去

丹澤孝平

明治四十三年七月七日取締役に就任  
其の後重任

大正七年十一月十二日逝去

古屋専藏

明治四十三年七月七日取締役に就任  
其の後重任

大正七年十一月十二日辭任

市川 銀次郎

明治四十三年七月七日監査役に就任  
其の後重任

大正八年六月二十五日辭任

大正八年六月二十五日取締役に就任

大正十一年六月二十四日常務取締役に就任

其の後重任

大正十一年六月二十四日取締役に就任

其の後重任

大正十五年七月六日逝去

齋藤 清十郎

明治四十三年七月七日監査役に就任  
其の後重任

大正十一年六月二十四日辭任

大正十一年六月二十四日取締役に就任

其の後重任

大正十四年六月二十五日辭任

大正十四年六月二十五日取締役に就任

其の後重任

昭和十年三月一日逝去

原田 政甫

明治四十三年七月七日監査役に就任  
明治四十四年九月二日幸八と改名  
其の後重任

大正十四年六月二十五日辭任

大正十四年六月二十五日取締役に就任

其の後重任

大正十四年六月二十五日取締役に就任

其の後重任

廣瀬 和育

昭和三年六月二十五日忠幸と改名  
其の後重任

大正八年六月二十五日取締役に就任

其の後重任

大正十四年五月十二日逝去

矢崎 淑太郎

大正八年六月二十五日監査役に就任  
其の後重任

大正十五年十二月二十三日辭任

大正十五年十二月二十三日取締役に就任

其の後重任

斎藤 仙助

大正十四年六月二十四日監査役に就任  
其の後重任

昭和七年六月二十五日辭任

昭和七年六月二十五日取締役に就任

昭和七年九月二十日常務取締役に就任

大正十五年六月二十五日監査役に就任

其の後重任

野中 豊七

大正十四年六月二十四日監査役に就任  
其の後重任

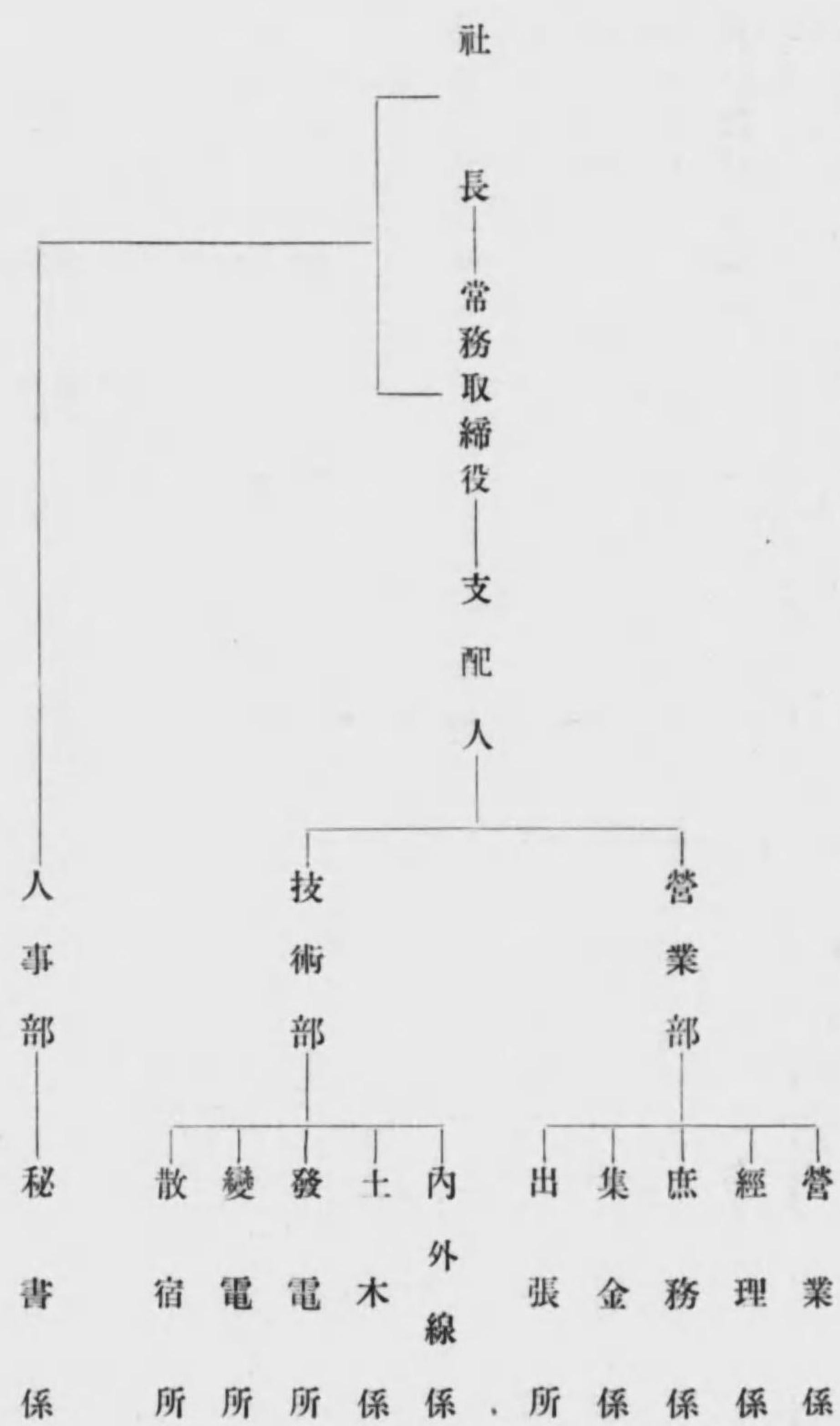
昭和七年六月二十五日辭任

昭和七年六月二十五日取締役に就任

昭和七年九月二十日常務取締役に就任

大正十五年六月二十五日監査役に就任

其の後重任



## 市川治平

大正十五年十二月二十三日監査役に就任  
其の後重任  
昭和七年六月二十五日監査役に就任

## 笛本米藏

昭和九年六月二十五日源次右衛門と改名

## 第五章　會社の職制

會社の職制は業務開始當時に於ては本社一ヶ所のみにて、支配人自ら各業務を總括しゐたるも順次營業の發展に伴ひ、業務を分掌せしむる事とせり。其の後數度の改革變遷を経て、現在の職制を確立せるものにして、其の系統は次表に示す如くなり。

而して、營業部、技術部には各部長を置き營業部長は主席主事を、技術部長は技師長を以て之に充て、其の他には各主任を置き處理せしむ。  
人事部は社長及常務取締役に直屬す。

## 第六章 社員制

會社創立の當時には、營業部は支配人、書記、雇員、給仕等に、技術部は、主任技師、技手、助手、運轉手、見習、工手見習、電工、雇、等に區別したれども其の後改革し現在の如き社員制となれり。

營業部 支配人、主事、書記、雇員、使丁

技術部 主任技師、技師、技手、工手、工具、工員見習、電工、電工見習而して營業部に於ける支配人、主事、書記、雇員、技術部に於ける主任技師、技師、技手、等を社員と總稱し、其の他を傭員と總稱す。

### 社員及傭員數の増減

年 度	營業部		技術部		合 計
	明治四十四年十一月末	七 名	一 二 名	一 九 名	
同 四十五年	七 名	一 四 名	二 一 名		
大正二年	七 名	一 四 名	二 一 名		
同 三 年	八 名	二 〇 名	二 八 名		
同 四 年	八 名	二 二 名	三 〇 名		
同 五 年	八 名	二 二 名	三 六 名		
同 六 年	一 二 名	二 四 名	三 九 名		
同 七 年	一 二 名	二 五 名	三 九 名		
同 八 年	一 三 名	二 六 名	三 六 名		
同 九 年	一 四 名	二 七 名	四 二 名		
同 十 年	一 五 名	二 五 名	四 七 名		
同 十 一年	一 六 名	二 七 名	五 四 名		
同 十 二年	一 七 名	三 二 名	五 八 名		
同 十 三年	一 八 名	四 一 名	四 三 名		
同 十 四年	一 九 名	四 一 名	四五 名		
同 十 五年	一 六 名	四 一 名	五六 名		
同 十 六年	一 五 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 七年	一 四 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 八年	一 三 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 九年	一 二 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二十年	一 一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 一年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 三年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 四年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 五年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 六年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 七年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 八年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 九年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二十年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 一年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 三年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 四年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 五年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 六年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 七年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 八年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 九年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二十年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 一年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 三年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 四年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 五年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 六年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 七年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 八年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 九年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二十年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 一年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 三年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 四年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 五年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 六年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 七年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 八年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 九年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二十年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 一年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 三年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 四年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 五年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 六年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 七年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 八年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 九年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二十年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 一年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 三年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 四年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 五年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 六年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 七年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 八年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 九年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二十年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 一年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 三年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 四年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 五年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 六年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 七年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 八年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 九年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二十年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 一年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 三年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 四年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 五年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 六年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 七年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 八年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 九年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二十年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 一年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 三年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 四年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 五年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 六年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 七年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 八年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 九年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二十年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 一年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 三年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 四年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 五年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 六年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 七年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 八年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 九年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二十年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 一年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十 二年	一一 名	四 一 名	六 一 名		
同 十					

發電所名	施行氣認可事	工事着手	假使用認可	使用開始	出力
第一發電所	明治四十三年十二月廿八日	明治四十四年五月二十四日	大正三年十一月六日	大正三年十一月七日	一千五百瓦特
第二發電所	明治四十四年五月三十一日	明治四十四年十月九日	明治四十四年十二月二十日	明治四十四年十二月廿二日	一五〇瓦特
津金發電所	大正九年十一月十五日	大正十一年六月十七日	大正十三年九月二十日	大正十三年九月三十日	六〇〇瓦特
芦安發電所	昭和二年十二月十日	昭和三年三月七日	昭和五年四月二十四日	昭和五年四月二十五日	六〇〇瓦特
圭崎火力發電所	大正十二年十二月一日	大正十二年十二月六日	大正十二年十二月廿二日	大正十二年十二月廿三日	二〇〇瓦特

# 第一 章 發電所の建設

## 第二編 事業の大要

昭和元年	二〇名	四七名	六七名
同二年	二一名	四八名	六九名
同三年	二三名	四九名	八四名
同四年	二六名	六一名	八九名
同五年	二九名	六三名	八九名
同六年	三〇名	五八名	六三名
同七年	三〇名	六三名	五八名
同八年	三一名	六三名	六四名
同九年	三一名	九三名	九四名
三五名	三〇名	九三名	九九名
六四名	六三名	八八名	九九名

右表に示すが如き順序にて、現在五ヶ所に、發電所を有すれば、平常は、津金及芦安の二ヶ所のみを使用し、他は渇水期其の他に備ふ。

## 第二章 發電所設備及變電所設備

別表の通り

所名	種類	出力(KW)	類及造者名	重量(KG/Cm <sup>2</sup> )	熱積(攝氏)	常備	豫備	類	ワット數
亘崎	油	200	—	—	—	—	—	デイール	224

### 變電所

變電所名	位位置	出力		變			結線法
		供給用(KVA)	電鐵用(KVA)	容量(KVA)	電壓	一次(V)	
亘崎	北巨摩郡 亘崎町	750	—	250	10,000	3,300	—△—△
明穂	中巨摩郡 明穂村	1,200	—	400	10,000 9,500 9,000	3,300	—△—△
日野春	北巨摩郡 日野春村	600	—	200	6,600	11,000 10,500 10,000 9,500	—△—△

6 7 8 9 2 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2 2

### 發電所設備 其ノ一

發電所名	河川名	有効落差 (m)	使用水量 (m³/s)	理論水力 (KW)	出力 (KW)	原動機				發電機						變壓器										
						種類	キロワット數 常備	周波數 常備	總キロワット數 常備	製造者名	種類	容量 (KVA)	電壓 (V)	回轉數	周波數 常備	總容量 (KVA)	製造者名	容量	電壓 (V)	周波數 常備	總容量 (KVA)	製造者名				
第一	富士川水系之瀬川	90.6	0.22	198	150	ベルトン	172	1	—	伊リバ	三相	150	3,500	600	50	1	—	150	—	8.8	—					
第二	富士川水系之瀬川	191.8	0.08	157	150	ベルトン	172	1	—	ホイト	タ	150	3,500	600	50	1	—	150	—	8.8	—					
津金	富士川水系大門川	133.5	0.70	912	600	フランシス	670	1	—	670	—	E. W.	タ	750	11,000	750	50	1	—	750	—	W.H.	—			
芦安	御財使用及金山澤	172.6	0.95	1,650	1,200	ベルトン	1,490	1	—	1,490	—	三菱造船	タ	1,500	11,000	600	50	1	—	1,500	—	三菱	—			
																		75	11,000	3,300	—	人一人				
																		コア	自	3,500	1	—	75	—	三菱	—

### 發電所設備 其ノ二

發電所名	原動力種類	出力 (KW)	汽罐				原動機				發電機						變壓器									
			種類	製造者名及	汽壓 KG/cm²	汽溫 (攝氏)	加面積 (m²)	周波數 常備	種類	キロワット數 常備	周波數 常備	總キロワット數 常備	製造者名	種類	容量 (KVA)	電壓 (V)	回轉數	周波數 常備	總容量(KVA)	製造者名	容量 (KVA)	電壓 (V)	周波數 常備	總容量(KVA)	製造者名	
韭崎	油	200	—	—	—	—	—	—	デイール	224	1	—	224	—	新湯鐵工所	三相	200	3,300	375	50	1	—	200	—	三菱	—

### 變電所設備

變電所名	位位置	出力	變壓器								製造者名	電動發電機又ハ變流機						調相機						
			供給用 (KVA)	電鐵用 (KVA)	容量 (KVA)	電壓 (V)	周波數 (V)	周波數 (V)	周波數 (V)	周波數 常備		周波數 常備	周波數 常備	周波數 常備	周波數 常備	周波數 常備	周波數 常備	周波數 常備	周波數 常備	周波數 常備	周波數 常備	周波數 常備		
韭崎	北巨摩郡韭崎町	750	—	250	10,000	3,300	—△—△	セル	自	1	50	3	1	750	250	—	—	川北	—	—	—	—	—	
明穗	中巨摩郡明穗村	1,200	—	400	10,000	9,500	3,300	—△—△	セル	自	1	50	3	1	1,200	400	—	—	川北	—	—	—	—	—
日野春	北巨摩郡日野春村	600	—	200	6,600	11,000	10,500	10,000	—△—△	コア	自	1	50	3	1	600	400	—	芝浦	—	—	—	—	—

### 第三章 供給區域

一、明治四十三年二月八日左記一町十三ヶ村に對して認可を得

中巨摩郡 落合村、五明村、大井村、明穂村、豊村、野之瀬村、三恵村、

在家塚村、飯野村、西野村、百田村、御影村

北巨摩郡 菲崎町、龍岡村

一、大正二年二月二十日左記五ヶ村に對して認可を得

中巨摩郡 柳村、源村

北巨摩郡 登美村、鹽崎村、更科村

一、大正二年十一月十九日左記五ヶ村に對して認可を得

中巨摩郡 南湖村、藤田村、鏡中條村、田之岡村、今諫訪村

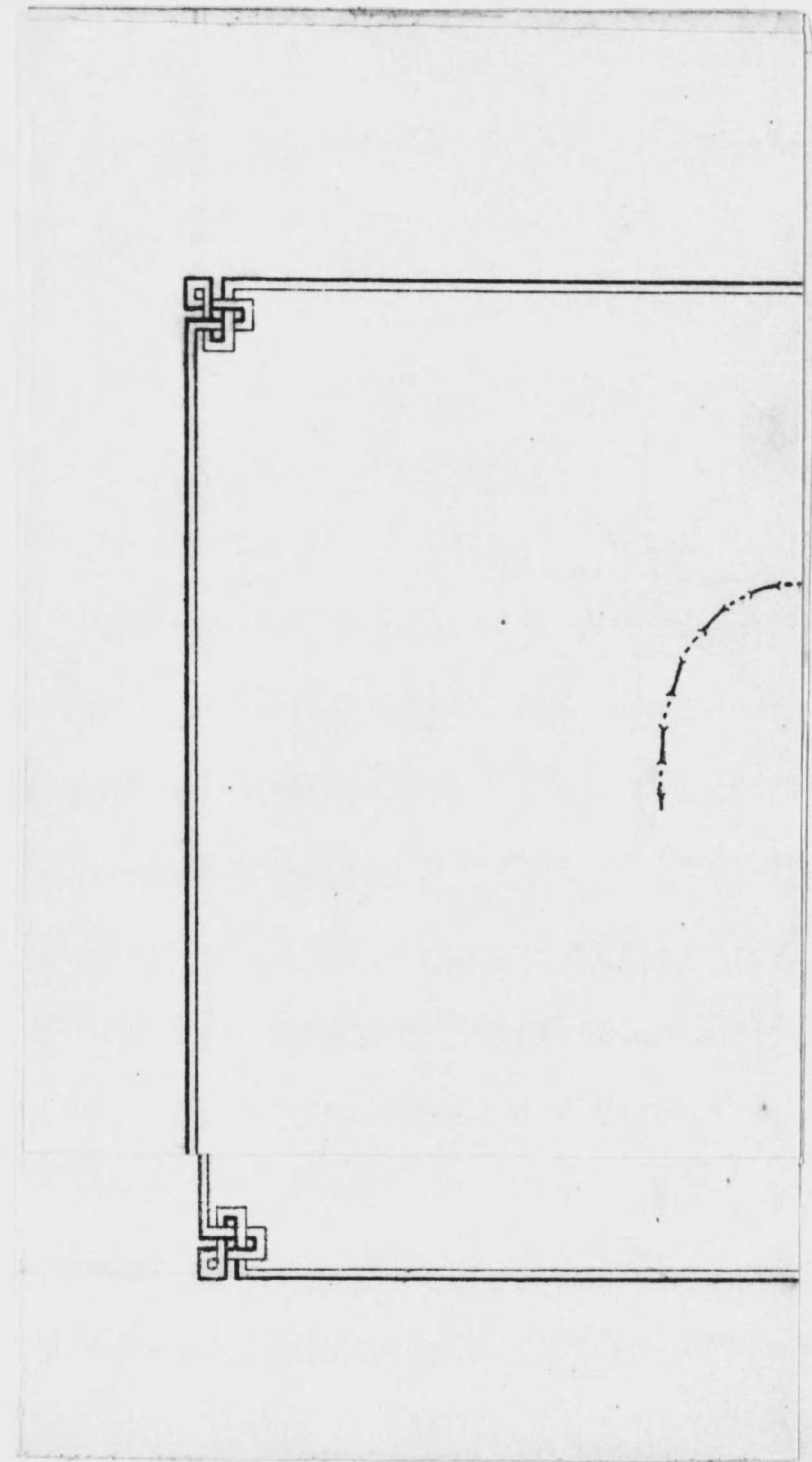
一、大正五年五月一日左記二十ヶ村に對して、認可を得

北巨摩郡 旭村、下條村、駒井村、申田村、穗足村、小笠原村、上手村、

朝神村、若神子村、安都那村、津金村、江草村、増富村、穴山村、

村、祖母石村、日野春村、清春村、小淵澤村、篠尾村、菅原村

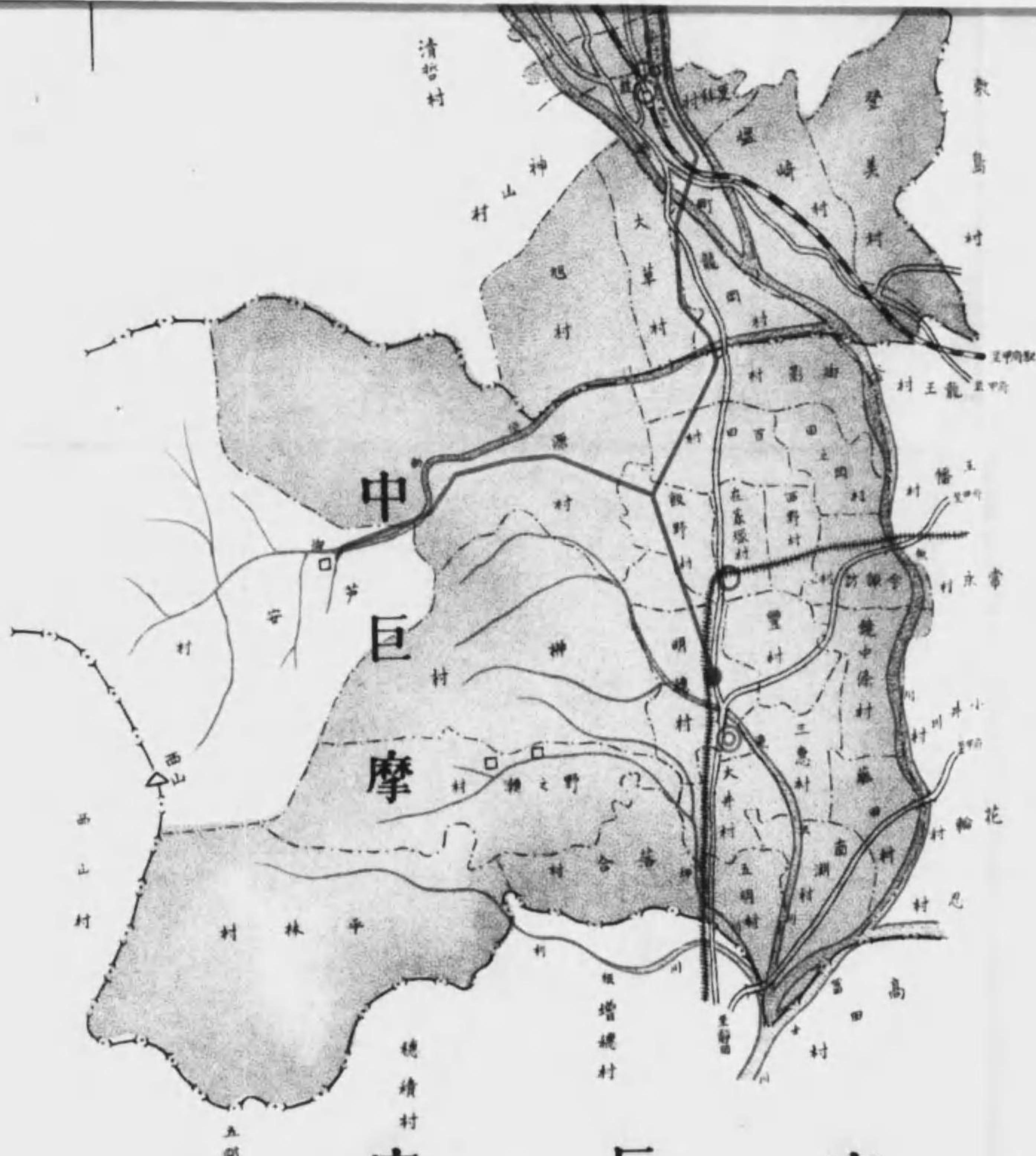
以上の如き順序により認可を得、爾來多少の變遷異動を経て、現在中巨摩郡下二十ヶ村、北巨摩郡下一町二十ヶ村、合計一町四十ヶ村の供給區域を有す。  
(別紙供給區域一覽圖參照)



# 供給區域一覽圖

縮尺十二万分之一





# 摩 巨 南

## 第四章 電燈電力普及の状況

昭和九年十一月三十日現在

## 第五章 大口電力供給狀況

昭和九年十一月三十日現在

需用家常時、殊等の別、晝夜間の別、キロワット數約四〇〇、開始昭和五年五月一日より供給備考

穂	中	駒	下	鹽	更	登	並	旭	大	龍	平	源	御	今	田	百	飯
足	田	井	條	科	村	村	崎	美	草	岡	林	村	村	諿	之	田	野
村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村
大正六年	大正五年	大正五年	大正四年	大正四年	大正四年	明治四年	大正三年	明治四年	大正二年	明治四年	大正八年	明治四年	大正三年	大正三年	明治四年	明治四年	明治四年
一、八五三	一、六六五	一、九六八	一、八七九	二、八二	六八八	二、〇五四	五、二八五	二、三一三	一、六六四	一、九七六	九三八	四、〇〇七	二、四九一	一、四六一	一、四三二	三、三五九	三、一三八
三一五	二八三	二四七	一九九	四五三	一二二	三一九	三〇三九	四一〇	二七六	三〇三	一七七	六〇八	三八五	二四八	二四三	四八四	五三〇
三一五	三一四	三五九	一八六	四四五	一〇二	三二九	九三三	四一三	二七二	三〇四	一八五	六一七	四三三	六八一	五五五	五四四	四九四
一、八〇	一、一	一、〇四	〇、九四	〇、九八	〇、九一	一、〇三	〇、九六	一、〇一	〇、九九	一、〇〇	一、〇四	一、〇一	一、一二	一、一三	一、〇五	一、一〇	〇、九三
七五六	七七四	六五七	四六六	一、二一八	—	四、九〇七	一、二七七	七四六	九六〇	一、二七七	一、二七七	一、二九一	一、三四一	七三三	一、七六六	一、九二三	一、九三
二、四一	二、四七	二、五四	二、五〇	二、七四	二、五三	二、八六	四、九四	三、一〇	二、七四	三、一六	二、三三	二、九八	二、六六	二、六六	二、八八	三、三一	三、九〇
四〇、八	四六、五	三三、四	二四、八	二、四一、五	三七、四	四六、九	九二、八	五五、三	四四、八	四五、八	四五、八	四五、一	五三、八	五一、三	五一、二	五二、六	六一、三
—	—	—	—	—	—	四〇	四〇	三二六									
0、0	0、0	0、0	0、0	0、0	0、0	0、0	0、0	0、0	0、0	0、0	0、0	0、0	0、0	0、0	0、0	0、0	0、0
—	—	—	—	—	—	一八〇	一一六、五	一三、〇	八、〇	一三、五	七、〇	三一、〇	三一、〇	一七、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇
五、〇	三、〇	三、〇	—	—	—	四、五〇	一、一九〇	四、〇〇	二、二五	二、二五	二、二五	一〇、三三	五、六六	五、三四	四、二〇	四、二〇	七、九二
—	—	—	—	—	—	五、一〇	二、三八	五、一〇	八、三五	八、三五	七、七〇	六、五五	七、六一	三、四九	四、〇七	九、四七	七、九一
五、八二	六、七八	五、〇九	四、一六	二、二三	二、二八	五、一〇	六、八二	四、一六	七、七〇	六、五五	六、五五	七、六一	三、四九	四、〇七	九、四七	七、九一	七、九一

芦安電燈株式會社	〃	夜	間
穗坂村電氣部	補給	〃	—
		三〇	

## 第六章 化學工業部

大正十一年三月十九日臨時株主總會の決議により合併以來昭和九年五月十二日廢止に至る迄事業を成さず。

但し合併によりて、繼承せる御勅使川水利権に對しては、昭和三年三月七日工を興し昭和五年四月二十四日竣工せり。

現在五發電所中最大の出力を有する芦安發電所是なり。

## 第三編 會社の會計

### 第一章 資本金增加の経過

- 一、明治四十四年八月二十日第二回拂込貳萬五千圓完了
- 一、大正三年六月一日第三回拂込貳萬五千圓完了
- 一、大正六年十二月一日第四回拂込貳萬五千圓完了
- 一、大正八年六月二十五日資本金四拾萬圓增加決議(壹萬株)
- 一、大正九年二月一日増資新株式八千株に對する第一回拂込拾萬圓完了
- 一、大正十一年三月十九日山梨化學工業株式會社合併による増資拾萬圓決議。是にて、資本金六拾萬圓此の株數壹萬貳千株となる。
- 一、大正十一年七月二十四日新株式八千株に對する第二回拂込拾萬圓完了
- 一、大正十一年十月二十五日第二新株式（舊化學工業割當株）貳千株に對する第二回拂込貳萬五千圓完了
- 一、大正十二年四月十日新株式壹萬株に對する第三回拂込拾貳萬五千圓完了

一、大正十二年十二月一日新株式壹萬株に對する第四回拂込拾貳萬五千圓完了  
是にて六拾萬圓全額拂込済みとなる。

一、昭和二年六月二十五日資本金六拾萬圓を百參拾萬圓(二千株)に増額決議。  
前記増加すべき七拾萬圓に對する株式壹萬四千株の内壹萬貳千株は昭和二  
年八月一日現在の株主に於て、舊株式一株に對して、新株式一株の割合を  
以て、優先し残貳千株は會社關係者に於て引受くる事を決議す。

一、昭和二年十一月四日第三新株式壹萬四千株に對する、第一回拂込拾七萬五  
千圓完了。

以上の經路によりて、現在資本總額百參拾萬圓七拾七萬五千圓拂込済みなり。

## 第二章 建設資金借入概況

一、大正二年七月二日日本勸業銀行より金四萬圓借入。

一、大正五年三月三十一日日本勸業銀行より金參萬圓借入。

一、大正十三年十二月二十八日日本勸業銀行より金貳拾萬圓借入同時に同行舊

債務を返済す。

一、昭和三年七月一日住友信託株式會社より金五拾萬圓借入日本勸業銀行舊債  
務を返済す。

一、昭和六年四月二日日本興業銀行及住友信託株式會社より金參拾五萬圓宛計  
七拾萬圓借入同時に、住友信託株式會社の舊債務を返済す。

一、昭和八年十二月二十七日鴻池信託株式會社より金六拾萬圓借入同時に、住  
友信託株式會社及日本興業銀行の舊債務を返済す。

一、其の後昭和九年五月末金貳萬圓を、昭和九年十一月末金貳萬圓を、昭和十  
年五月末金貳萬圓を返済し、現在金五拾四萬圓の長期借入金を有す。

## 第三章 累年營業成績表

別紙の通り。

昭和十年六月二十五日印刷

昭和十年七月二十五日發行

發編  
行輯者兼 峡西電力株式會社內  
土屋富三

印刷者 青柳幸雄  
甲府市柳町七十四番地

印刷所 芳文堂印刷所  
甲府市柳町七十四番地

發行所 峡西電力株式會社

山梨縣中巨摩郡明穂村小笠原二百四十三番地

累年營業成績表

陝西電力株式會社

收入金	總收入金	總支出金	利益金	配後期 當率	債却金 繩越金	資產總額 累計	株式 主數	發電所 出力 K.W.	變電所 出力 K.V.A.	受電 K.W.	電燈		電力		電熱		電線路				支持物							
											定額 需用家數	從量 取付燈數	需家 用數	電 馬力數	電 筒數	電 匹 (キロワット)	直長		延長		送電線 軒	配電線 軒	送電線 軒	配電線 軒	木柱	鐵柱		
																	送電線 軒	配電線 軒	送電線 軒	配電線 軒								
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100						
337.21	2,373.88	—	—	—	—	100,337.21	—	2,000	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
4,405.00	247.72	4,862.63	—	—	—	104,405.00	—	—	36	—	—	—	421	1,069	—	—	—	—	—	21.29	—	78.16	452					
3,290.00	6,871.42	3,206.13	—	—	—	123,290.00	—	—	39	1	150	—	—	1,259	2,938	—	3	28.0	3	—	—	27.85	—	161.97	645			
34,095.38	11,778.95	5,032.63	6,746.36	1.5	461.72	250.00	130,995.61	—	38	1	—	—	—	1,512	4,461	—	—	29	52.0	29	—	—	33.33	—	165.03	728		
44,780.00	12,909.65	6,765.10	6,144.54	1.5	1,301.28	500.00	154,236.44	—	38	1	—	—	—	1,981	4,980	—	—	31	48.0	31	—	—	35.74	—	170.34	778		
10,000.00	14,177.38	8,073.90	6,103.47	1.5	1,349.75	1,526.95	163,058.30	—	37	1	—	—	—	2,247	5,457	—	—	31	52.0	32	—	—	38.48	—	170.30	830		
10,000.00	14,458.08	8,851.56	5,606.52	1.5	926.27	2,740.02	176,321.06	—	40	1	—	—	—	2,412	5,973	—	—	31	76.0	32	—	—	44.11	—	191.27	953		
10,000.00	15,032.93	8,677.36	6,355.57	1.2	476.84	4,454.26	177,711.73	—	40	2	300	—	—	2,941	6,887	—	—	31	76.0	32	—	—	.80	59.25	2.41	228.46	1,305	
10,000.00	15,511.96	9,571.46	5,940.50	1.2	272.34	5,932.63	195,599.43	—	40	2	—	—	—	3,751	8,124	—	—	31	76.0	33	—	—	.80	75.68	2.41	268.07	1,666	
10,234.26	17,662.63	11,282.14	6,380.49	1.2	397.83	7,366.73	194,302.09	—	40	2	—	—	—	3,831	8,534	—	—	31	76.0	32	—	—	.80	78.57	2.41	274.67	1,730	
10,000.00	19,204.68	12,679.83	6,524.84	1.2	667.68	8,658.94	204,158.90	—	38	2	—	—	—	4,838	9,794	—	—	31	79.0	31	—	—	.80	86.14	2.41	293.19	1,889	
10,000.00	25,214.72	16,463.36	8,751.35	1.2	1,019.03	12,328.74	210,333.26	—	38	2	—	—	—	5,247	10,766	—	—	31	94.0	32	—	—	.80	89.04	2.41	302.20	1,952	
10,000.00	29,070.20	15,037.45	14,032.75	1.5	866.79	16,126.58	220,970.15	—	39	2	—	—	—	5,484	10,983	—	—	37	122.5	38	1	120	.80	94.51	2.41	323.78	2,078	
10,000.00	32,369.81	16,236.16	16,132.65	1.5	2,030.44	18,154.18	223,448.45	—	40	2	—	—	—	5,600	11,218	—	—	37	122.5	38	—	—	.80	99.99	2.41	340.04	2,119	
10,000.00	28,883.60	16,644.55	12,239.04	1.5	2,019.48	20,094.65	226,716.84	—	39	2	—	—	—	100	5,587	11,196	—	—	38	124.5	39	—	—	.80	100.15	2.41	353.52	2,196
10,000.00	30,263.45	17,876.48	12,386.96	1.5	2,156.45	22,640.05	231,802.06	—	40	2	—	—	—	5,702	11,394	—	—	39	135.5	41	—	—	.80	105.14	2.41	362.90	2,309	
18,659.95	37,373.17	23,672.19	13,700.98	1.5	2,107.43	26,604.66	266,164.75	—	39	2	—	—	—	7,515	14,581	—	—	40	152.5	42	—	—	.80	130.58	2.41	427.94	2,815	
17,319.89	49,664.14	29,651.57	20,012.57	1.5	5,820.00	30,965.67	298,847.23	—	40	2	—	—	—	9,836	19,936	—	—	41	155.5	43	—	—	.80	153.80	2.41	482.84	3,313	
15,379.33	62,488.25	42,350.64	20,137.61	2.2	1,921.61	34,312.79	722,528.94	10,000	201	2	—	—	—	11,357	24,771	—	—	41	155.5	43	—	—	.80	175.82	2.41	535.65	3,772	
14,438.77	73,781.58	48,779.71	25,001.87	2.0	7,673.48	38,605.05	727,058.16	—	229	2	—	—	—	11,901	26,588	—	—	42	156.5	44	—	—	.80	179.04	2.41	542.42	3,838	
12,890.17	65,828.33	42,720.02	23,108.31	1.7	7,631.79	42,094.27	767,828.21	—	227	2	—	—	—	11,725	27,845	—	—	42	156.5	44	—	—	.80	186.44	2.41	599.73	3,988	
11,341.57	75,192.05	51,162.81	24,029.24	1.7	7,961.03	45,756.81	814,790.65	—	231	2	—	—	—	12,042	29,105	—	—	41	155.5	44	—	—	.80	190.95	2.41	611.32	4,074	
10,676.83	75,068.69	53,883.60	21,185.09	1.5	8,246.12	49,433.63	870,441.62	—	224	2	—	—	—	12,261	30,181	—	—	39	144.5	42	—	—	.80	193.37	2.41	617.60	4,122	

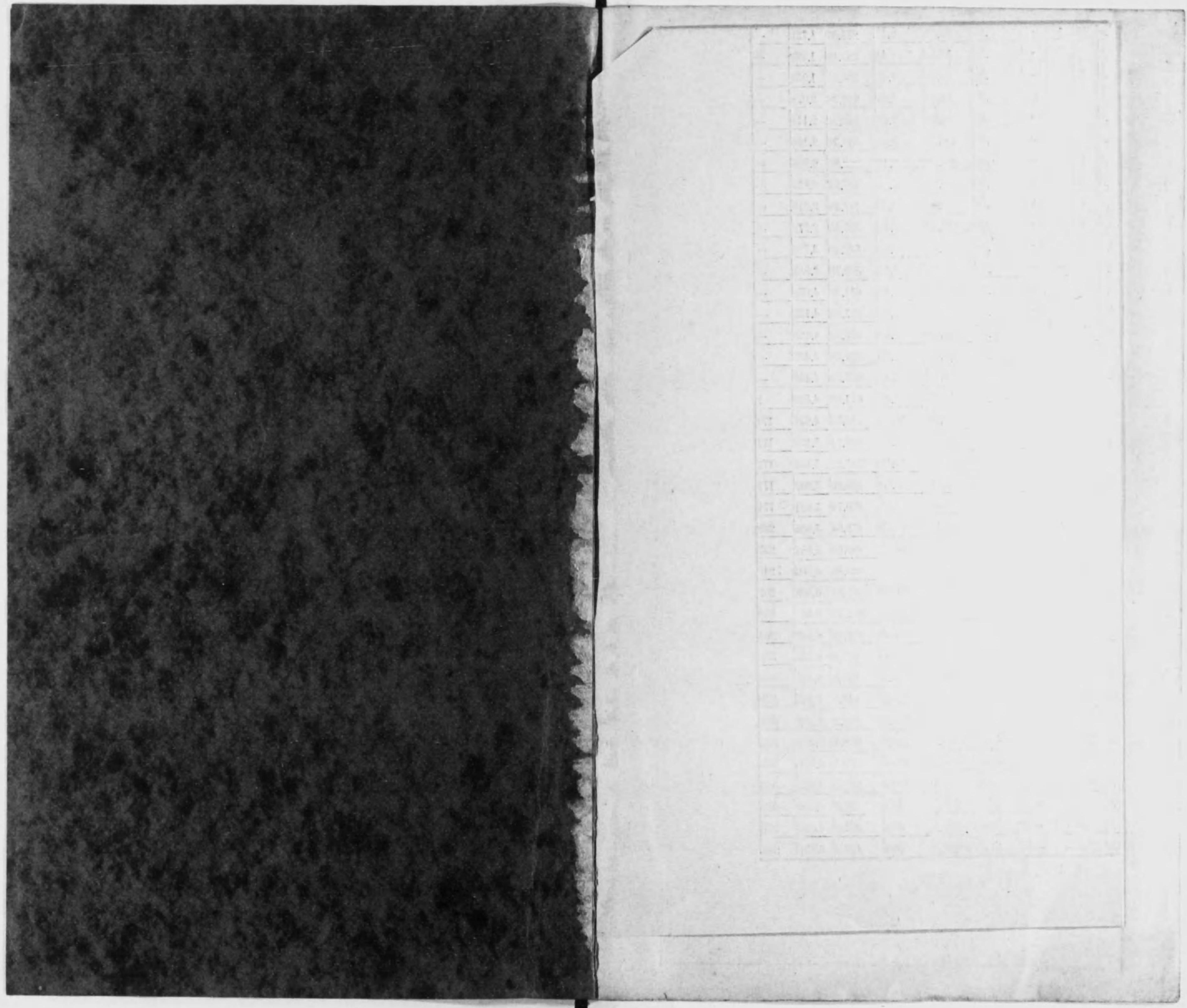
# 累年營業成績表

峽西電力

年次	回 數	資本金				諸積		諸引		借入金		總收入金		總支出金		利益金		配當率	後期	償却金	資產總額	株式 數	株 主 數	發電所		變電所		受 電 電 力 需 家 用 數	電 燈 定 額 需 用 家 數	電 力 從 量 取 付 燈 數	電 熱 售 數	「キロワット」 数
		總額		拂込		立金		當金		內		內		內		內							K.W.		K.V.A.		K.W.					
		內	內	內	內	內	內	內	內	內	內	內	內	內	內	內	內	數	出力	數	出力	數	出力	數	出力	數	出力	數	出力			
明治四十三年	1	100,000	25,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,000	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
明治四十四年	2	夕	夕	—	—	—	—	33721	2,373.88	—	—	—	—	—	—	—	—	100,33721	夕	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
明治四十五年	3	夕	50,000	—	—	4,405.00	247.72	4,862.63	—	—	—	—	—	—	—	—	—	104,40500	夕	36	—	—	—	—	—	—	421	1,069	—			
大正元年	4	夕	夕	—	—	23,290.00	6,871.42	3,206.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	123,290.06	夕	39	1	150	—	—	—	—	1,259	2,938	—			
大正二年	5	夕	夕	—	—	24,095.38	11,778.96	5,032.63	6,746.36	1.5	461.72	250.00	130,995.61	夕	38	1	夕	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,512	4,461	—			
大正三年	6	夕	夕	1,000	—	44,780.00	12,909.65	6,765.10	6,144.54	1.5	1,301.28	500.00	154,236.44	夕	38	1	夕	—	—	—	—	—	—	—	—	1,981	4,980	—				
大正四年	7	夕	夕	2,000	—	50,000.00	14,177.38	8,073.90	6,103.47	1.5	1,349.75	1,526.95	163,058.30	夕	37	1	夕	—	—	—	—	—	—	—	—	2,247	5,457	—				
大正五年	8	夕	夕	3,500	—	50,000.00	14,458.08	8,851.56	5,606.52	1.5	926.27	2,740.02	176,321.06	夕	40	1	夕	—	—	—	—	—	—	—	—	2,412	5,973	—				
大正六年	9	夕	75,000	5,000	—	40,000.00	15,032.93	8,677.36	6,355.57	1.2	476.84	4,454.26	177,711.73	夕	40	2	300	—	—	—	—	—	—	—	2,941	6,887	—					
大正七年	10	夕	夕	6,500	—	40,000.00	15,511.96	9,571.46	5,940.50	1.2	272.34	5,932.63	195,599.43	夕	40	2	夕	—	—	—	—	—	—	—	3,751	8,124	—					
大正八年	11	夕	夕	7,600	—	39,234.26	17,662.63	11,282.14	6,380.49	1.2	397.83	7,366.78	194,302.09	夕	40	2	夕	—	—	—	—	—	—	—	3,831	8,534	—					
大正九年	12	夕	夕	8,800	—	70,000.00	19,204.68	12,679.83	6,524.84	1.2	667.68	8,658.94	204,158.90	夕	38	2	夕	—	—	—	—	—	—	—	4,838	9,784	—					
大正十年	13	夕	夕	10,000	—	70,000.00	25,214.72	16,463.36	8,751.35	1.2	1,019.03	12,328.74	210,333.26	夕	38	2	夕	—	—	—	—	—	—	—	5,247	10,766	—					
大正十一年	14	夕	夕	12,500	—	70,000.00	29,070.20	15,037.45	14,032.75	1.5	866.79	16,126.58	220,970.15	夕	39	2	夕	—	—	—	—	—	—	—	5,484	10,983	—					
大正十二年	15	夕	夕	19,250	—	70,000.00	32,369.81	16,236.16	16,132.65	1.5	2,030.44	18,184.18	223,448.45	夕	40	2	夕	—	—	—	—	—	—	—	5,600	11,218	—					
大正十三年	16	夕	100,000	27,950	—	70,000.00	28,883.60	16,644.55	12,239.04	1.5	2,019.48	20,094.65	226,716.84	夕	39	2	夕	—	—	—	—	—	—	—	100	5,587	11,196					
大正十四年	17	夕	夕	32,200	—	70,000.00	30,263.45	17,876.48	12,386.96	1.5	2,156.45	22,640.05	231,802.06	夕	40	2	夕	—	—	—	—	—	—	—	5,702	11,394	—					
大正十五年	18	夕	夕	29,450	—	68,659.95	37,373.17	23,672.19	13,700.98	1.5	2,107.43	26,604.66	266,164.75	夕	39	2	夕	—	—	—	—	—	—	—	7,515	14,581	—					
大正十六年	19	夕	夕	35,200	—	67,319.89	49,664.14	29,651.57	20,012.57	1.5	5,820.00	30,965.67	298,847.23	夕	40	2	夕	—	—	—	—	—	—	—	9,836	19,936	—					
大正十七年	20	500,000	200,000	43,000	—	65,879.33	62,488.25	42,350.64	20,137.61	2.2	1,921.61	34,312.79	722,528.94	10,000	201	2	夕	—	—	—	—	—	—	—	11,357	24,771	—					
大正十八年	21	夕	夕	122,900	—	64,438.77	73,781.58	48,779.71	25,001.87	2.0	7,673.48	38,605.05	727,058.16	夕	229	2	夕	—	—	—	—	—	—	—	11,901	26,588	—					
大正十九年	22	夕	夕	133,400	—	62,890.17	65,828.33	42,720.02	23,108.31	1.7	7,631.79	42,004.27	767,828.21	夕	227	2	夕	—	—	—	—	—	—	—	11,725	27,845	—					
大正二十年	23	夕	夕	138,400	—	61,341.57	75,192.05	51,162.81	24,029.24	1.7	7,961.03	45,756.81	814,790.65	夕	231	2	夕	—	—	—	—	—	—	—	12,042	29,105	—					
大正二十一年	24	夕	夕	143,900	—	59,876.83	75,068.69	53,883.60	21,185.09	1.5	8,246.12	49,433.63	870,441.62	夕	224	2	夕	—	—	—</												



# 電線路延長四十七期以後ハ回線延長トス



終

